

3月8日に、札幌市弁護士会より4名の弁護士の方々をお招きして、5・6年生を対象に『いじめ防止教室』を行いました。

前半の弁護士による講義では「いじめってなんだろう?」「いじめはどうしてよくないことなのか」などについて学びました。後半はグループ協議を通して、「いじめを起こさないためにはどうしたらよいのか」について考えました。本校の学校関係者評価委員の皆様、藻岩地区の学校関係者の皆様、保護者の皆様にもご参会いただき、子どもたちと共に『いじめを起こさないために大切なこと』を学ぶことができた素晴らしい時間となりました。



弁護士の講義から

【いじめ】とは…

「暴力」「ひどい言葉」「ひどい態度」「物を壊す」など、心や身体に影響を与えられた人が、心身の苦痛を感じているもの

- ・人は、いじめられると、学校に通えなくなったり、家の外に出られなくなったり、死を選んでしまうこともあります。
- ・誰の心の中にも《水の入ったコップ》があります。
あなたの行った暴力や暴言が、相手にとって《最後の一滴》となり、水があふれ出てしまうかもしれません。

幸福追求権

「人権」の一つ
人が誰からも心や身体を傷つけられずに、幸せに生きる権利

「いじめ」は『人権の侵害』
さらに、《いじめ防止対策推進法》で、
「児童等は、いじめを行ってはならない」と定められています！

あなたの、思いやりのある言葉や行動は、相手の
《心のコップの水》を減らすことにつながります！



グループ協議を通して

「いじめ」が起きたとき、どうすればいいんだろう？

～ある「いじめ」の登場人物～

- A：教室で小説に夢中になっていて、Bさんに声をかけられても気付かなかった。BさんとBさんの友達に無視されている。
- B：教室でAさんに声をかけても、Aさんに返事をしてもらえなかった。友達と一緒にAさんのことを無視している。
- C：Bさんから「Aさんを無視しよう」と言われ、面白いと思って「いいね」と言った。Bさんの行動を止めなかった。
- D：体育館でAさんが、Bさんや友達から無視されているのを見ていた。Aさんを無視はしていない。

A,B,C,Dの、それぞれの立場について考えよう

Aさんの気持ちを考える

「どんな気持ちかな？」

・悲しい ・苦しい ・つらい

「今後どうなることが怖いかな？」

・Bがもっとひどいことをしてくる ・もっとたくさんの人から無視される

「この状態が続いたら、Aさんはどうなってしまうかな？」

・人が怖くなる ・学校に行けなくなってしまう ・誰も助けてくれない



Bさんの行動は、どこに問題があったのかを考える

・Aさんに、返事をしなかった理由を聞かなかった。

・Aさんに無視をされたと思い込んで、仕返しに、Aさんを見無視した。

・他の友達に、Aさんを見無視しようと呼びかけて、みんなで無視しようとした。

Cさんの行動は、どこに問題があったのかを考える

・Bさんに、Aさんを見無視することを提案された時、面白がって、Bさんの行動を止めなかった。

Dさんの立場だったら、どうする？

・「やめよう」と言うしてみる。

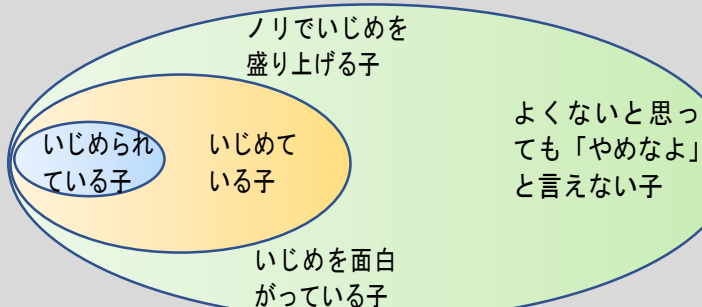
・先生や親に相談する。

・Aさんに声をかけてみる。

・怖くて何もできないかもしれない

**それぞれの立場で
できることがある！**

「いじめ」の起きたクラスの状態



「やめなよ！」とは言えなくても、**小さなノー**からクラスの雰囲気を変えられます！

いじめをしない・いじめをなくす心がけ

1. 自分がされて嫌なことは人にしない。

2. 「嫌だ！」と伝えよう。

3. いじめには協力しない空気をつくる。

「**小さなノー**」「よくないよ」を伝える。

4. いじめられている人の話を聞く。

困ったり悩んだりしたら、大人に相談しよう！

保護者の皆さんへ

自分のお子さんが「いじめられている(かもしれない)」とき

・話してくれたことに感謝を伝えましょう。 ・優しく話を聞いてあげましょう。

・親の考えを優先せず、お子さんの気持ちを優先しましょう。

・学校と情報共有して、適切な解決を目指しましょう。

自分のお子さんが「いじめをしている(かもしれない)」とき

・頭ごなしに叱るのではなく、まずはお子さんの話に耳を傾けましょう。

・いじめが間違っていることを教えてあげましょう。

・お子さんの満たされない気持ちを見付けてあげましょう。